



おがわ たか お
小川 貴夫
自由民主党田原市議団



一般家庭の防犯カメラ設置を支援する 仕組み作りの考えは

侵入盗の状況や地域の特徴を捉え、今後研究していく

安心で安全な社会の構築について

問 市内で起きる犯罪の特徴は。

答 侵入盗や自転車盗、車上狙いの件数が多く、その特徴として、家の無施錠や自転車に鍵をかけずに駐輪するなどのケースが多く見られる。

問 一般家庭が防犯カメラを設置する際に支援する仕組みを作る考えは。

答 侵入盗の状況や地域の特徴を捉え、今後研究していく。

問 現在、防犯灯整備の補助率は2分の1であるが、それを見直して地域の負担を少なくする考えは。

答 犯罪に対する市民の意識を高めることを優先とし、補助率の見直しは、その効果を踏まえ検討する。

問 農機具や農作物、金属の盗難が増える中、農業団体や漁協、商工会などからも防犯カメラの設置について要望を聞いては。

答 関係団体などと検討し、総合的に判断していく。

問 監視カメラの設置による不法投棄の防止効果は。

答 事業系の廃棄物と思われる大量の食品残渣が繰り返し複数のごみステーションに排出される事案があったが、自治会と市で協力の上、監視カメラを設置し、警察に通報する旨を表記したことで、それ以降、同様の不法投棄は完全になくなった。

問 不法投棄の重点箇所全てにカメラの設置をしては。

答 不法投棄防止の看板や立ち入り禁止のロープの設置などの対策や、定期的なパトロールによっても不法投棄が減らず、監視カメラによる対策が必要不可欠と判断した時には、地区自治会と協議の上、状況に応じて追加設置を検討する。



問 事前の周知方法は。

答 広報たはらや市のホームページ、関係校区での説明会の開催、バス停やバス車内での掲示のほか、田原市公共交通ガイドブックに中山線の利用方法や予約方法について解説したページを追加し、全戸配布する。

問

当日体調不良や都合で説明会に来られない人、関係校区外から利用する人のために、後日アーカイブで見られる方法は考えられないか。

答

より多くの方に周知できるよう、後日動画で見られるような方法などについても検討していきたい。

問

予約方法が電話のみとのことだが、メールやLINE、Web申し込みなど、インターネットやITを活用した予約受付は実施されないのか。

答

今回の実証実験では、電話予約のみで実施する。電話以外の申込方法の導入については、実証実験を通じて利用者の需要を把握した上で、運行事業者と調整の上、検討していく。